



第53回日本肝癌研究会

メディカルスタッフセミナー

メディカルスタッフが知っておくべき 肝がん治療と副作用マネジメント アップデート

近年の薬物療法の進歩により、肝がん治療にも「分子標的薬」という新たな作用機序の薬が登場し従来の抗がん剤とは異なった副作用への対応が求められています。

第53回日本肝癌研究会では、関連する他の診療科・看護師・薬剤師などのメディカルスタッフらと連携し、チーム医療で肝がん患者を支える意義について、**各領域専門家と患者さんの生の声から**、ともに学ぶ機会を提供します。



2017年 **7月7日 (金)** 18:00
～19:30

京王プラザホテル (新宿)
東京都新宿区西新宿2-2-1 南館4F「錦」

参加費
無料
先着300名

総合座長：国土 典宏

第53回日本肝癌研究会 会長 (東京大学肝胆膵外科・人工臓器移植外科/国立国際医療研究センター)

特別講演	肝がん治療のアップデート 長谷川 潔 (東京大学肝胆膵外科・人工臓器移植外科)	Webでの事前参加登録 http://www.cancernet.jp/20809  メールでの事前参加登録 0707@cancernet.jp メール返信にて受付票と 地図をお送りいたします
基調講演 1	分子標的薬に起因する皮膚障害のマネジメント ～手足症候群 (HFS) を中心に～ 清原 祥夫 (静岡県立静岡がんセンター 皮膚科)	
基調講演 2	副作用マネジメントに薬剤師ができること 篠原 旭 (国立がん研究センター東病院 がん専門薬剤師)	
基調講演 3	副作用マネジメントに看護師ができること 山岸 恵 (国立がん研究センター東病院 がん性疼痛看護認定看護師)	
基調講演 4	肝がんと向き合って 大岩 恒晃 (肝がんサバイバー)	

* 事前参加登録がなくてもご参加いただけます。FAXでお申し込まれた方には受付票と地図をFAXにてお送りします

FAXでの事前参加登録 FAX送信先 03-5840-6073

(フリガナ) お名前	FAX受付票 返信先番号
ご所属施設名	日頃の治療・指導・ケアの課題があればご記入ください
お立場	医師・看護師・薬剤師・その他

【企画・運営・お問い合わせ】NPO法人キャンサーネットジャパン Tel:03-5840-6072

共催：第53回日本肝癌研究会
バイエル薬品株式会社

協力：  ナース専科

 ナースプレス

 ココヤク